



志木二小だより

<http://www.shiki2syo.ed.jp/> 志木二小 検索

令和7年度7月1日号

志木市立志木第二小学校

志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

学校教育目標 **思いやりのある子 進んで学ぶ子 健やかな子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	7/1現在
	77	71	81	85	81	84	8	487

「志木二小だより」の上段には、その月の「全校集会」で子供たちに伝えた内容を中心に掲載してまいります。よろしければ、ご家庭でも話題にさせていただけますと幸いです。

今日は何の日？ 開校記念日！

～「友達と仲よく」「ねばり強く」「希望にむかって」～

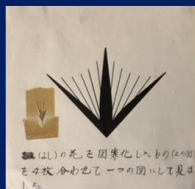
校長 佐々木 幸

7月を迎え、いよいよ1学期最後の月となりました。校内でも色とりどりの七夕飾りを目にするようになりました。また、梅雨の時期となり、じめじめとした日や一転して熱中症が心配されるような猛暑の日もあります。引き続き、お子様の体調に気を付けていただき、子供たちが充実した学期末を迎えられるようよろしくお願いいたします。

さて、本日は、志木第二小学校の開校記念日でした。そこで、子供たちと校章や校歌を作ってくださった人たちの思いを探ってみることにしました。学校の中には、開校当時（昭和43年）の資料も残っていました。



これは なになになる？



まず子供たちには、左のスライドを見てもらいました。これは、開校当時の校章のデザイン画です。葦の花をモチーフにし、校章をデザインしたことが分かりました。そして、どうして葦をモチーフにしたのかを探るために、校歌を作詞した下山さんからの当時の手紙に触れました。そこには、2番の歌詞にある「流れの葦に根をはって」に、「葦の根強いがんばり」から「ねばり強くがんばってほしい」という思いが、そして、1番の歌詞には、「よい学校になってほしい」「仲間同士親しみをもってほしい」という思いが、そして3番の歌詞には「希望にむかってがんばってほしい」という思いが込められていることを知りました。

その後、全校で歌った校歌には、校章の作者や校歌の作詞者の思いも、しっかりとこもっていたように感じました。57年間大切に受け継がれてきた思いをこれからも大切にできるよう、そして、今の時代だからこそできることにも、子供たちと挑戦しながら、まずは、1学期の残された日を大切に過ごしていきたいと思います。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

志木四小の子供たちとの協働学習がはじまりました。先日、それぞれの1年生が相手の学校の1年生を自分たちの学校に招待し、校庭の遊具を紹介したり、一緒に遊んだりしました。グループを作り、2校の子供たちが一緒に活動することで、相手意識をもち、「どうすれば相手が喜んでくれるかな」などと考えながら活動している姿が、とても微笑ましかったです。志木の森学園の一員として交流し、仲良くなることはもちろんのこと、相手意識をもち、学習に取り組むことで、学習の効果をより高めていくことができると考えております。

